

「日本は恵まれています。尊い命です。みなさん一生懸命に生きてください…」

— 東中で国際理解学習 —



「世界の中で豊かな生活を営んでいるのは先進国のわずか20パーセントです。日本は恵まれています。過酷な環境の中で生きている人がたくさんいます。尊い命、水や食べ物が大事、みなさん一生懸命に生きてください…」と、5月15日(月)、須恵東中学校(今泉靖親校長 生徒231人)で、「国際理解学習＝アジアの子どもたちは今」と題した講演会がありました。

これは2000年度からの「総合的な学習の時間」の一つに「国際理解」が取り上げられたことから、開発途上国の現状・課題、開発援助の重要性などについての理解や、国際協力に何らかの形で参加する態度を養うことを目的にNPO(民間非営利団体)との連携を図り、先駆的に企画されたものです。

講師は、NPOで教育活動に尽力されている池間哲郎氏(沖縄アジアチャイルドサポート代表)を招いたものです。



同氏は、主にアジア諸国(ベトナム、タイ、フィリピン、カンボジア、モンゴルなど)の戦争被災地や貧困地域の人権保護や社会資本整備に15年にわたって取り組まれており、こうした諸外国での活動のほか、日本の子どもたちの健全育成を図るため、中学校の講演巡回プログラムを組むなどして教育支援に尽力されているものです。

講演は、同氏の活動事例が講話と写真やビデオテープを使って進められ、体育館に集まった生徒らは、演壇の大型スクリーンに次々と映し出される諸外国の国情などについて理解を深めるとともに、過酷で悲惨な環境のもとで必死に生きる同世代の子どもたちの姿に、真剣なまなざしで見入っていました。

生徒の感想

「アジアの子どもたちの話や映像を見て、うまく言いにくいけど、こんなにヒドイとは思わなくてびっくりしました。次に自分がもしこの子の立場だったら…と考えました。今の生活から考えると、私たちにはどうい、無理だと考えました。私より小さい子がこんなに貧しくても、一生懸命に働いていると思ったら、苦しくなりました。そして自分が情けなく思いました。もっと、感謝する心を持って恥ずかしくない、生き方をしていきたいと思います。」

(須恵東中学校「学校通信」から転載)



改革を積極的に進めます 「須恵町行財政改革集中プラン」を策定 No.4

須恵町行財政改革集中プランとは

▼計画策定の趣旨

本町の行財政運営は、今までも「最小の経費で最大の行政効果」をスローガンに行財政改革を積極的に進めてきました。

しかし、少子高齢化による人口減少時代を迎え、地方自治体は、住民ニーズの高度化・多様な社会情勢の変化に適切に対応することがいっそう求められています。

国および地方財政も非常に厳しく、国は財政の健全化と構造改革をすすめるとともに、地方自治体に対しても市町村合併、三位一体の改革を促進しています。

このような社会情勢のもと、国から地方自治体が集中的に取り組むべき今後の行財政改革の方針が示されたのに基づき、本

町の今後の健全な行財政運営の指針とするためこの計画を策定しました。

▼計画期間

この計画の期間は、平成17年度から平成22年度までの6年間です。

▼集中改革項目

計画期間内に集中的に行う改革の基本事項は次のとおりです。

また、この計画期間中において社会情勢の変化により、適宜見直しを行なっていくものとします。

- (1) 事務事業の再編・整理、廃止・統合
- (2) 民間委託等の推進(指定管理者制度の活用を含む)
- (3) 定員管理・給与の適正化など

(4) 経費節減の財政効果

(5) 電子自治体の推進

(6) 第三セクターなど

(7) 地方公営企業の経営健全化

(8) 地域協働の推進

(9) 財政計画

(4) 経費節減の財政効果

▼歳入関係(表1)

▼歳出関係(表2)

(5) 電子自治体の推進

本町は、平成14年度に役場庁舎と小学校、中学校、保育所、幼稚園などの公共施設を光ファイバー回線で結ぶ地域イントラ

ネットを構築しました。

今後は、電子自治体の構築を推進します。(P11表3)

課として発足、効率的な運営を図っています。

また、業務別に外部委託を検討します。

(6) 第三セクターなど経営健全化

▼経営改革の推進

① これまでの取組み

平成15年度から、浄水場第6次拡張事業を3年計画で施工しました。

開発行為などに伴う、給水規制緩和による水需要の拡大、料金滞納者に対する給水停止の強化などを行いました。

② 組織改革

平成18年度から上下水道部を廃止し、水道課・下水道課・管理課の3課を統合して上下水道

③ 平成17年度から平成22年度までの取組み目標

第6次拡張事業の目標年次は平成22年度、給水目標人口は2万7600人、計画1人1日最大給水量412リットル、計画1日最大給水量1万2300m³(粕屋町給水分900m³を含む)です。

▼定員管理・給与の適正化

下水道の普及に伴う、水需要にも対応し安定した上水道の供給確保を図ります。

定員管理の適正化については、町職員定数条例の定数内で、公営企業に配置されていますが、外部委託の推進などにより定員10人を2人削減し、嘱託職員については廃止の方向で検

須恵町では、須恵町行財政改革集中プランを3月に策定しました。この策定の概要を、4月から5回にわたってお知らせしていきます。

なお、本策定は、町ホームページに全文掲載しています。
URL
<http://www.town.sue.fukuoka.jp/>